

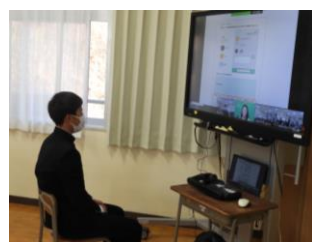
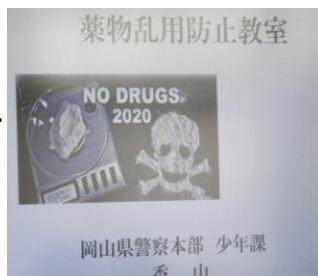
哲多中学校の校舎からは、立地の関係でよく虹が見えます。自然が一面に広がる運動場に見える虹はとても美しく、心が和みます。これから入試が近づくと不安で心が押しつぶされそうなきもあると思いますが、そんなときは少し違うところに目を向けてみてください。一緒に頑張っている仲間の姿、そして何か心癒されるものを見つけることができるかもしれません。

## 薬物は「ダメ。ゼッタイ。」

12月1日(火)に薬物乱用防止教室がありました。岡山県警察本部の方の講話は薬物の恐ろしさがとても伝わってくるものでした。一回だけ…という甘い気持ちで薬物に手を出してしまうと、その一回が取り返しのつかないことになることを学びました。

～感想～

・薬物にはたくさんの種類があることや、とても危険な害があることなどたくさんのことを知ることができました。麻薬などを使うと自分ではやめることができなくなったり、死んでしまったりすることもわかりました。薬物は一回使うだけで依存してしまい、今までの生活が変わってしまうのが怖いと思いました。今まで自分には関係がないと思っていましたが、意外と身近なものであることがわかりました。もし、将来誰かから誘われたら、しっかりと断る勇気をもって「ダメだよ」と言えるようになりたいです。



## 楽しいコミュニケーションのために

12月11日(金)に情報モラル講習がありました。LINE株式会社の方とZoomを使用してのオンライン講座でした。スタンプや文字だけの会話は、手軽に意思表示ができて便利ですが、相手の顔が見えないので

誤解を生じるという問題が起こります。LINEでのやりとりが原因で起こるいじめの問題も多いです。自分の言葉に責任をもって使用しましょう。「自分だけが楽しい」というのは、コミュニケーションとは言えないですね。

## 人権意識は日ごろから！

12月9日(水)に人権集会がありました。人権標語の表彰では各学年3人の作品が紹介されました。3年生の優秀作品は吉尾心花さん「一人の手 差しのべてくれる誰かの手優しく手を取り ありがとう」定岡丈一朗くん「気にかけてよう やさしい言葉が 命をすくう」二嶋夏萌さん「笑ってる でもその裏には 悲しい顔が…」



次に、クラスの人権目標の振り返りを学級委員が行いました。3年生は「是々非々」という人権目標を多くの人が守れていましたが、「意見をきちんと言う」という課題がありました。

次に、新型コロナウイルスに関わる差別についてグループで話し合いました。新型コロナウイルスは病気⇒不安⇒偏見⇒不安…という負のスパイラルを引き起こしていることを学びました。不確かな情報を信じたり流したりしないということや、医療従事者に感謝をするなど、注意すべきことを考えられました。最後に、哲多中学校いじめ防止宣言をみんなで読み上げました。

～感想～

・今は新型コロナウイルスの影響で差別がおきています。ネットの情報が本当かどうかわからないのに、それを本当だと決めつけて相手を傷つけてしまっています。それを防ぐために、うわさを信じすぎず周りに広めず、思いやりの気持ちをもって相手を傷つけないようにするのが大切だと思います。普段の生活でいじりとしてバカやアホなどの言葉を、自分から言ったり友達から言われたりしているけれど、いじりすぎるといじめになって相手を傷つけてしまうかもしれません。これからは、相手に思いやりをもって発言をし、友達からきつく言われたら、嫌だよと言える人になりたいです。

## みんなちがってみんないい

12月4日(金)～10日(木)の人権週間にあわせて、道徳で「ちがいのちがい」という授業をしました。いくつかの項目をあってもよいちがい、あってはいけないちがいにわけ、友達との考えの違いを見比べて意見を交流しました。

～感想～

・人と意見や考え方などがちがってもいけないことではないと分かった。しかし、その考え方や意見を他人に押し付けると、けんかなどが起きるし、自分も意見を言わず、相手も意見を言わなかったら何も変わらない。  
・差別はこういう意見のちがいから生まれてくるものだと思った。相手の考えも尊重して理解することが大切だと思った。